

障サ協  
広報紙

# 山口県障害福祉 サービス協議会通信



発行：山口県障害福祉サービス協議会 広報委員会 〒753-0072 山口市大手町9番6号  
電話：083-924-2799 FAX：083-924-2798 メール：syougai@yg-you-i-net.or.jp

【令和元年度 障サ協活動テーマ】  
障害者福祉をどう地域社会にアピールし、  
我が事として定着させるか。

## 会員事業所紹介（第4回）

### 生活介護事業所 トイロ

### 地域で当たり前に在る事業所に

広報委員が会員事業所を訪問し、支援現場の雰囲気に触れながら、職員や利用者との関わり、事業所の特色やアピール点、課題や悩み等についてお聞きする会員事業所紹介。

今回は、山口市で自然に囲まれた環境を生かし、利用者のやる気を引き出す野菜づくりやものづくりを行いながら、地域の一員としての事業所づくりを目指しておられるトイロをご紹介します。



利用者さん手作りの郵便受けの前で  
左から、津守さん、古谷さん、津田さん、小西さんです

### トイロ

設置法人：社会福祉法人ひとつの会（理事長：内田芳明）

実施事業：生活介護事業（管理者：古谷夏子）

〒753-0214 山口市大内御堀3802-1

TEL 083-941-5110 FAX 083-941-5160

1. トイロは昨年の4月に開所されたとお聞きしておりますが、事業所開設の経緯をお聞かせください。

古谷：ひとつの会で、障害者福祉事業を展開していきたくと考えており、山口市からも防府市からも通所しやすい場所に生活介護事業を始めることにしました。

また、地域の歯科や口腔保健センターに行くことが難しい障害者がいるという現状がある中で、敷地隣の歯科医院さんに協力医になっていただき、サービス提供時間内に受診支援もできるようにしたいと考え、この場所に決めました。

2. 「トイロ」という名前の由来や思いは？。

古谷：十人十色のトイロです。利用者さんが発音しやすく、覚えやすく、きちんと意味のある言葉にしたかったんです。利用者さんや地域全体のいろんな人が十人十色になればいいなと思い、職員みんなで考えました。

3. 現在の利用状況を教えてください。また、利用者の特性に応じた対応の配慮や工夫がございましたら教えてください。

古谷：まだ少なく、今日は3人、多くて5人利用されます。特浴（機械

浴）を希望される方が多いです。

トイロができる時に、三障害を受け入れることができるようにと、部屋数が多い建物と考えると、いろいろな方が利用されていますので、特性などによって大きくグループ分けして、空間や部屋をうまく使い、それぞれの利用者さんが無理なく活動できるように配慮しています。

4. 支援で大切にしていること、特に意識していることがありましたら、教えてください。

古谷：それぞれの方ができることを見つけて午前中は作業の時間になっています。

身体障害の方は畑が難しそうでも、手前の畝なら水やりができるね、など、その人ができることや、こだわりの仕事にしたい。以前、大工をしていた利用者の方にコンポストを作ってもらい、自閉症の人にはコンポストの中に草取りをした葉っぱをちぎって入れて、たい

